

(別紙)

地域サポート計画(新規就農者向け)

(3年7月現在の情報)

都道府県名	北海道	市町村名	芦別市	問合せ 窓口	(組織名) 芦別市担い手育成総合支援協議会 (住所) 芦別市北1条東1丁目3番地	(電話) 0124-27-7838 (メールアドレス) nousei@city.ashibetsu.hokkaido.jp
-------	-----	------	-----	-----------	---	--

第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方や、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)		
	令和3年度		令和2年度		令和元年度			平成30年度	
	うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下			うち49歳以下	
新規就農者数(必須)	3	3			1	1			
内訳	新規参入者数								
	新規自営農業就農者数	1	1			1	1		
	新規雇用就農者数	2	2						

注1: 「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。

なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2: 「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一人法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3: 「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	迷ったら相談してください。
地域と農業の紹介文	芦別市は北海道のほぼ中央、空知総合振興局管内の東部に位置し、総面積は865,04 km ² を有していますが、森林面積が約88%をしめており典型的な中山間地帯であります。気候は大陸的で、農耕期間における平均気温は16.5℃と比較的高く、中央部を石狩川の最大支流である空知川が流れ、その大小の支流により恵まれた水利を利用し、これらの流域に広がる平坦部が農用地として利用されています。経営形態は、水稲を中心として畑作物、野菜、花き等を取り入れた複合経営が主であります。
主な農産物	水稲、花き、メロン、馬鈴しょ、南瓜等
地域が求める新規就農者	健康な18歳以上50歳未満の人

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	空知農業改良センター中空知支所	販路支援	JAたきかわ芦別支店販売部
農地確保支援	芦別市農業委員会	生活に係る支援 (住居、子育て等)	芦別市役所まちづくり推進係
機械・施設等の確保支援	芦別市役所農政係	事務局・全体調整	芦別市役所農政係
資金相談	JAたきかわ芦別支店農業経営課		
農業者による指導	芦別市内指導農業士及び農業士		

3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	就農・移住相談対応、就農相談会の開催	新・農業人フェア、北海道農業公社ホームページを参照ください。
	就農体験ツアー・インターンシップの実施	1週間以上1か月以下の期間で芦別市の農家で実際に体験をしていただきます。
	ホームページ、パンフレット等での情報提供	https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/5345.html
	その他	
就農前の支援	研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	芦別市担い手育成総合支援協議会作成のカリキュラムに沿って実施。
	就農計画作成サポート	サポートメンバーを活用し、関係機関で作成のアドバイスを実施する。
	農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	サポートメンバー等を活用する。
	販路確保、販路開拓に向けた支援	JAたきかわ芦別支店や直売所の活用、またはふるさと納税の返礼品活用等
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	空知農業改良普及センターによる指導を行います。
	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	JAたきかわ芦別支店農業経営課、芦部市農業委員会、芦別市農政係によるヒアリングの実施。
	販路確保、販路開拓に向けた支援	JAたきかわ芦別支店や直売所の活用、またはふるさと納税の返礼品活用等
	地元農家や地域住民との交流促進の取組	JA部会への参加等
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/
	その他	

注：地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

4 就農までの流れ(必須)

就農相談	就農準備段階	就農
<p>ステップ1 まずは、北海道農業担い手育成センター 外部のサイトに移動しますに相談。 担い手センターには、道内各地の新規就農支援の資料があります。専門の就農相談員に自分が目指す農業経営について話すと、とても親身に相談に乗ってくれます。</p>	<p>ステップ2 【農業体験実習】 就農をお考えの方は、まず、農業や農村の様子を体験することから始めます。芦別で実際に試したい場合は、担い手センターの紹介を受けてから芦別へ一度来ていただくことになります。そして具体的な制度の説明や関係機関の面談を受けます。その後、実際に希望される方は一週間以上一カ月以下の期間で、芦別の農家で実際に体験をしていただきます。 ステップ3 【営農実習】 農業体験実習が終了し、本格的に営農実習を受けたい方は、関係機関の審査を受けます。本市に移住し自立しようとする意欲と可能性があると認められると、1年以上2年以下の期間、芦別で営農実習を受けます。</p>	<p>営農実習期間が終了しましたら、いよいよ新規就農者としてスタートです。</p>

5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	460 万円	年間労働時間	2000 時間
------	--------	--------	---------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	メロン	75 a	15,600 kg	売上 977 万円	専従 3 人	6,841 h/年	
	南瓜等	100 a	16,000 kg	経費 515 万円	パート 人		
				所得 460 万円			
主な施設・ 機械等	ハウス(育苗ハウス等含む)	13 棟	トラクター31馬力、25馬力	2 台	軽トラ	1 台	
	管理機	1 式	南瓜磨き機	1 台	加工機械	1 式	
		台		台		台	

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。